

経済産業省 地域の生活コスト「見える化システム」について

【松江市は住みやすさ日本一】

平成27年3月30日 経済産業省において、地域の生活コスト「見える化システム」を利用した「地域の暮らしやすさ指標の貨幣価値」で松江市が日本一の指標となったことが発表された。

この指標については、生活利便性、働きやすさ、教育・子育て、医療・福祉、災害・自然環境、ライフスタイルといったカテゴリの中で22の指標を用いて設定しており、総合的な暮らしやすさを貨幣価値に換算して算出したものであり、約1万人のアンケートを基にランキングが発表された。

同システムでは、年齢・志向・家族構成の条件を設定することで、何を重視するかで地域の貨幣価値を換算するものであり、松江市は「30代：郊外・農村志向：夫婦と子供（小中高生）の世帯」の指標で日本一となった。

【指標について】

以下の表は松江市で全国一位（1741市町村中）となった指標であり、全22の指標のうち、6項目において全国一位となっている。

| カテゴリ | 暮らしやすさの指標 | 全国平均値 | 松江市 | 貨幣価値（円）/年 | | 全国順位 |
|---------|---|-------|-------|-----------|---|------|
| 生活利便性 | バス停までの距離 | 0.8km | 0.4km | 452,304 | 円 | 1 |
| 働きやすさ | 地域の求人倍率 （※都道府県指標） | 1.06倍 | 1.20倍 | 173,712 | 円 | 1 |
| 医療・福祉 | 病院又は診療所までの距離 | 1.6km | 0.9km | 223,980 | 円 | 1 |
| 医療・福祉 | 高度な救命措置が可能な救命救急センターまでの所要時間 | 46.9分 | 17.5分 | 376,536 | 円 | 1 |
| 災害 | 今後30年間に、震度6以上の揺れが発生する確率 | 15.7% | 0.9% | 399,312 | 円 | 1 |
| ライフスタイル | 地域の活動（まちづくり、町内会、PTA活動など）に関わる人の割合（※都道府県指標） | 2.5% | 4.1% | 83,832 | 円 | 1 |

松江市ではバス停までの距離、求人倍率、医療体制、災害、地域活動において高い評価となっている。低い評価については、鉄道までの距離、学校までの距離等が挙げられるが、いずれも全国平均値より高い数値となっている。この指標からは「まち」に対して一定の評価が得られたと考えられる。

高い指標を強みとし、また低い指標も継続して解決策を講じることで、大都市圏からの転入を促進し、「まち」「ひと」「しごと」を一体として創生する。

